

三宅町まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る

住民アンケート 結果報告

1. 調査概要.....	1
(1) 調査概要.....	1
(2) 調査方法、対象.....	1
(3) 実施期間.....	1
2. アンケートの結果.....	1
(1) 回答者属性.....	2
(2) 三宅町の暮らしについて.....	3
(3) 三宅町がこれから重点的に取り組もうとしている政策について.....	6

2021 年 2 月

1. 調査概要

(1) 調査概要

- ・今後 7 年間の重点的に取り組むまちづくりのアクションプランとなる「第 2 期地方創生総合戦略」の策定について、町民の方々の意向を戦略に反映するために、アンケート調査を実施した。

(2) 調査方法、対象

- ・三宅町の全世帯を対象に配達地域指定郵便にて郵送し、郵送及びウェブ回答による調査を実施した。
- ・回答者は 1 世帯につき、代表者 1 名に郵送かウェブで回答をしていただく形で行った。

アンケート回答対象数	アンケート回収枚数	回答率
2808 世帯	511 人 (内ウェブ 54 人、郵送 457 人)	18.2% (内、ウェブ:1.9%、郵送 16.3%)

(3) 実施期間

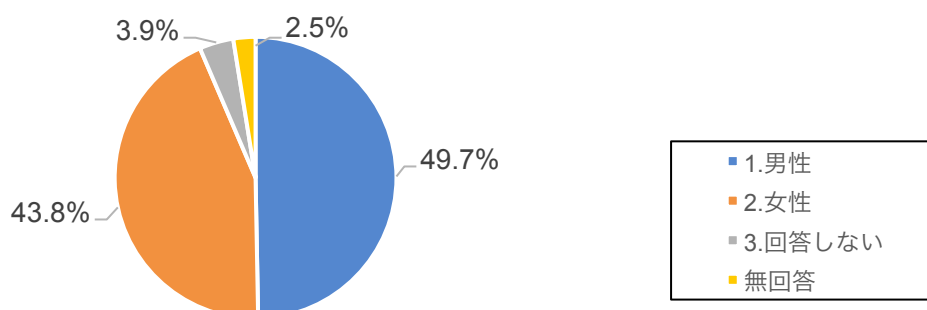
2021 年 1 月 20 日(水)～1 月 31 日 (土)

2. アンケートの結果

(1) 回答者属性

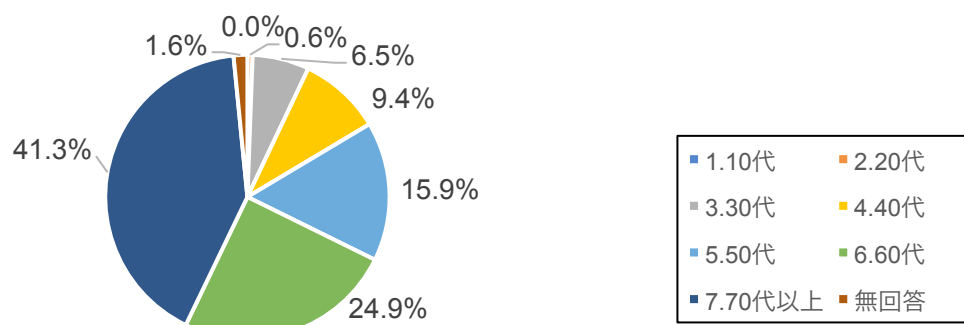
①性別

性別は「男性」が 49.7%、「女性」が 43.8%となった。



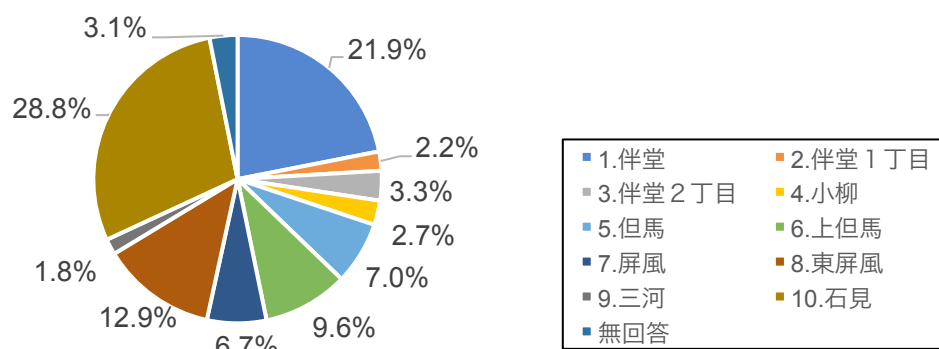
②年齢

年齢は「70 代以上」が 41.3%と最も多く、「60 代」が 24.9%、「50 代」が 15.9%となった。



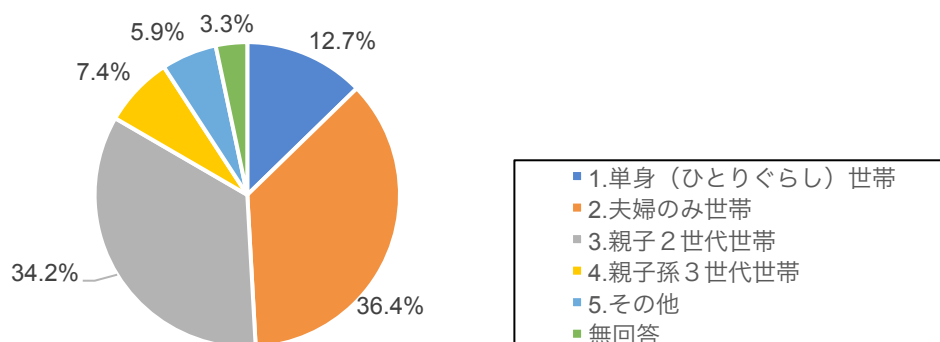
③住まい

住まいは「石見」が28.8%と最も多く、次いで「伴堂」が21.9%、「東屏風」が12.9%となった。



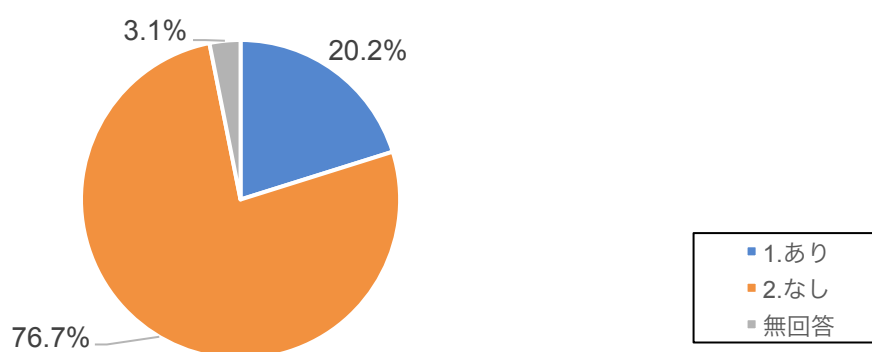
④家族構成

家族構成は「夫婦のみの世帯」が36.4%と最も多く、「親子2世代世帯」が34.2%となった。



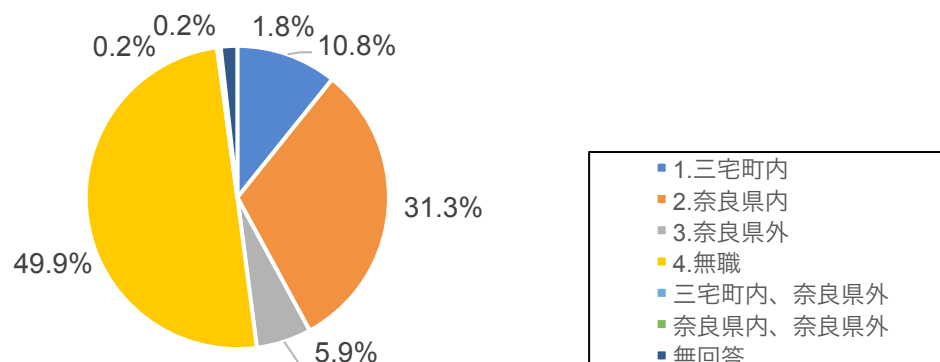
⑤18歳未満のお子さん

18歳未満のお子さんの有無については、「なし」が76.7%と多く、「あり」が20.2%となった。



⑥勤務地

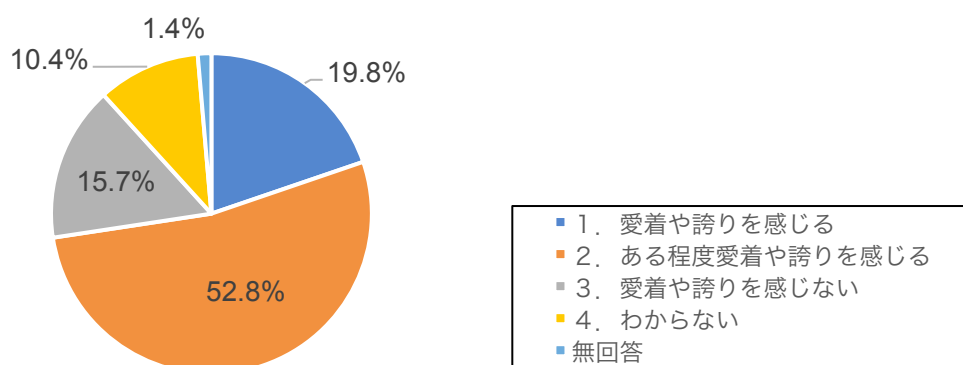
勤務地については「無職」が 49.9%と最も多く、次いで「奈良県内」が 31.3%、「三宅町内」が 10.8% となった。



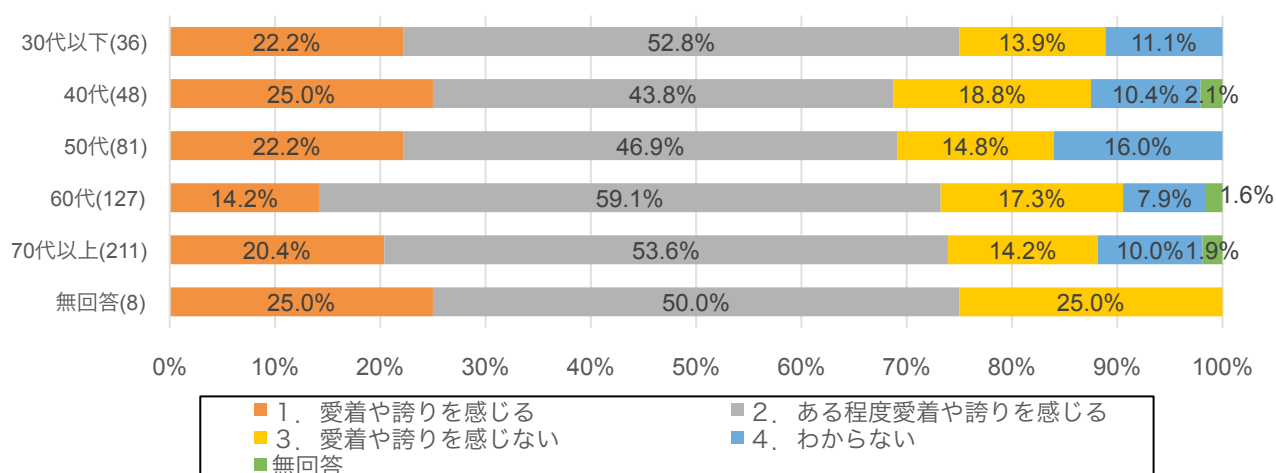
(2) 三宅町の暮らしについて

①三宅町への愛着や誇り

三宅町への愛着や誇りについては「ある程度愛着や誇りを感じる」が 52.8%と最も多く、次いで「愛着や誇りを感じる」が 19.8%となった。

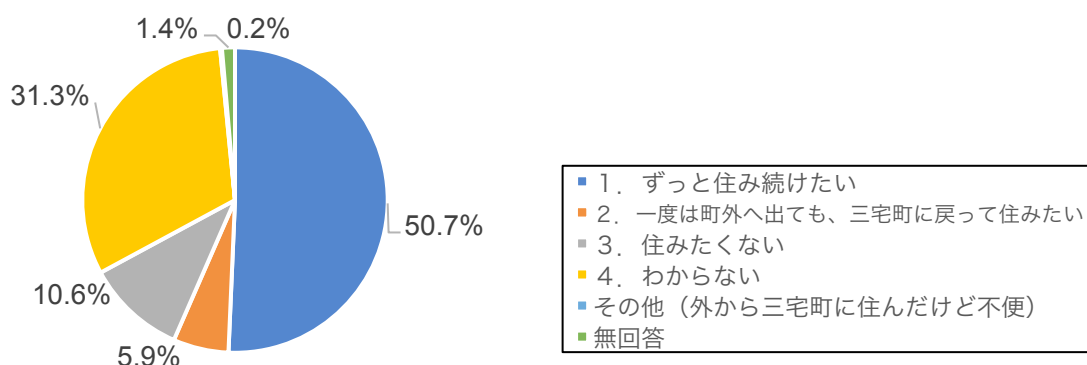


年齢別では、「30 代以下」が愛着や誇りを「感じる」「ある程度感じる」の割合が 75.0%と高く、「50 代」が 69.1%と低い。愛着や誇りを感じないと「感じない」の割合が高いのは「40 代」(18.8%) となった。

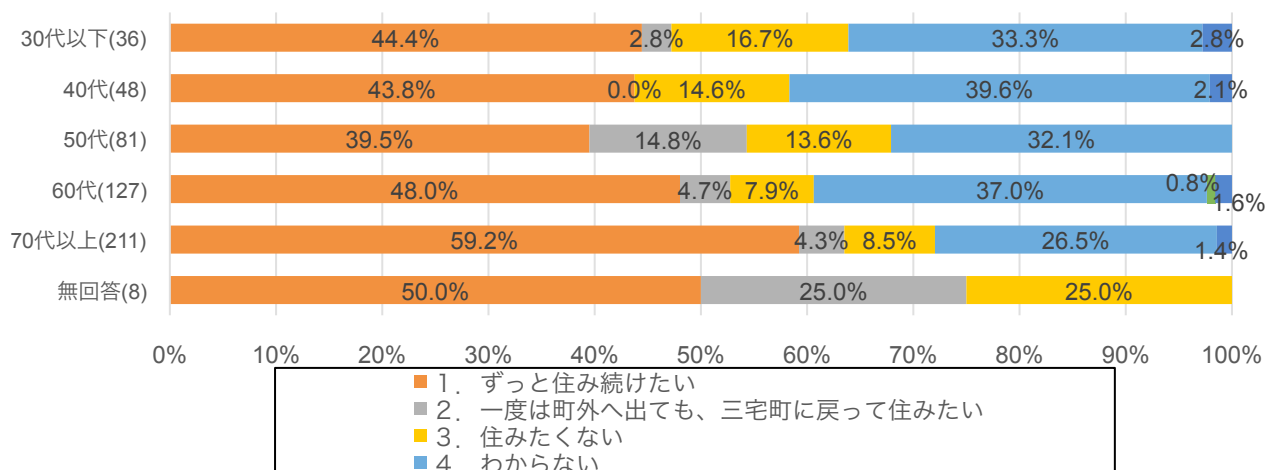


②将来の三宅町への居住意向

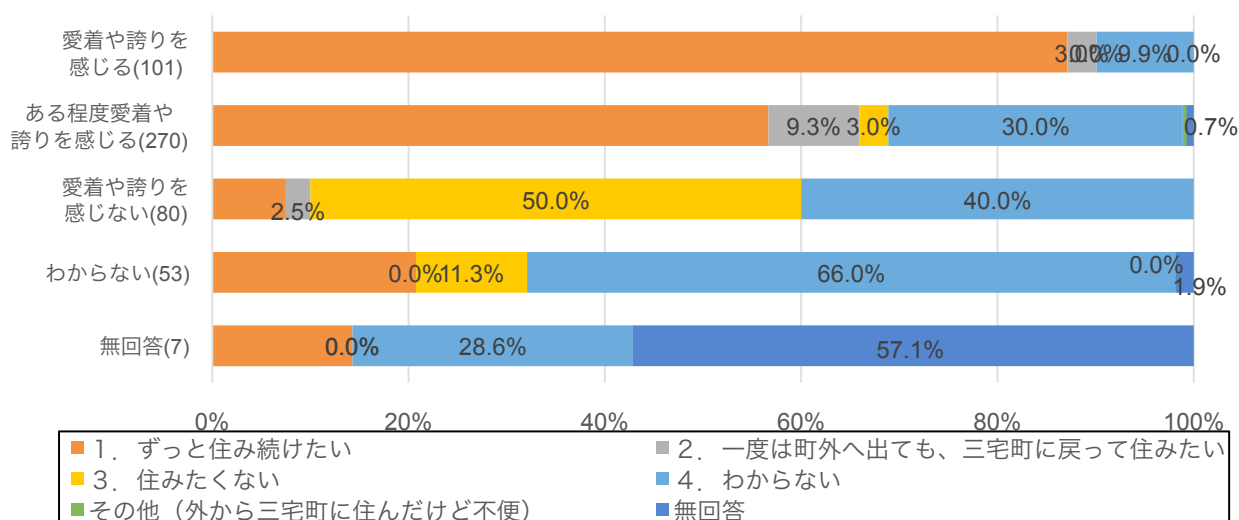
将来の居住意向については「ずっと住み続けたい」が 50.7%と多く、次いで「わからない」が 31.3%となった。



年齢別では「ずっと住み続けたい」と答えた割合が一番高いのは「70代以上」（59.2%）で、次いで「60代以下」（48.0%）となった。また「住みたくない」と答えた割合は「30代以下」（16.7%）が一番多かった。

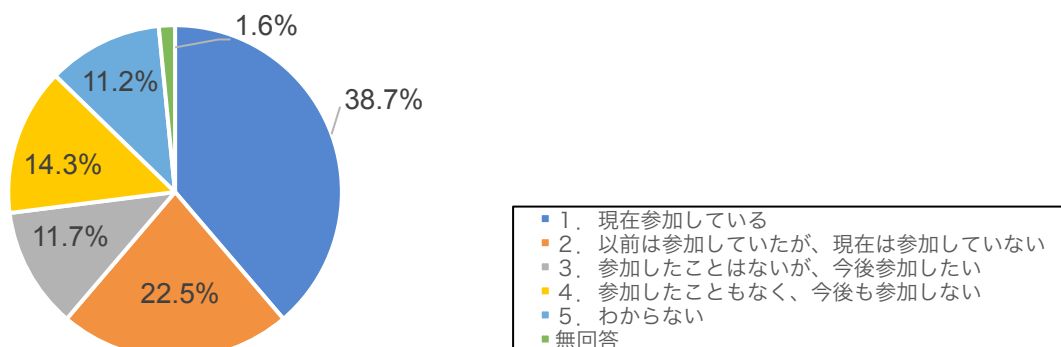


愛着別では、愛着や誇りを「感じる」「ある程度」感じると答えた人は「ずっと住み続けたい」と答えた割合が多いが、「感じない」と答えた人は「住みたくない」と答えた割合が多かった。

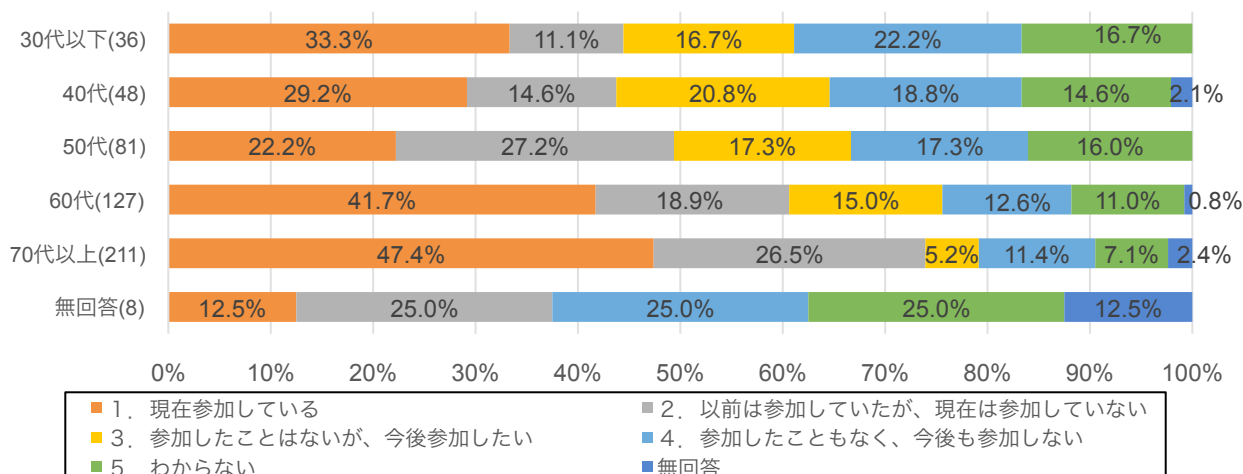


③地域の活動（自治会活動、ボランティア活動等）への参加

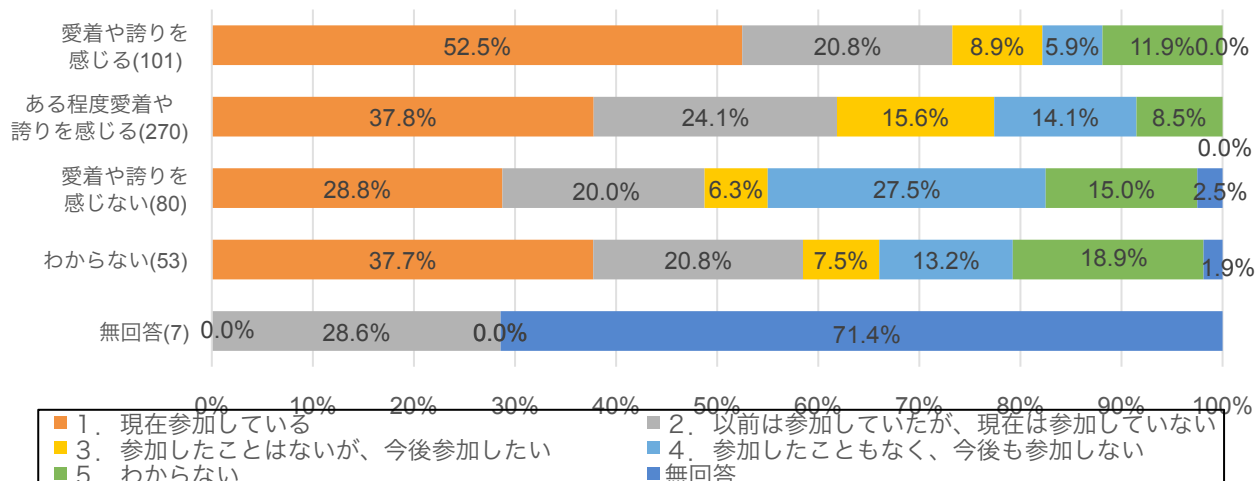
地域活動への参加については「現在参加している」が38.7%と多く、次いで「以前は参加していたが、現在は参加していない」22.5%となった。



年代別では、「70代以上」が「現在参加している」と答えた割合が高く、次いで「60代以上」「30代以下」となった。また「参加したことはないが、今後参加したい」と答えた割合は「40代」が20.8%と他の年代の中では高い。



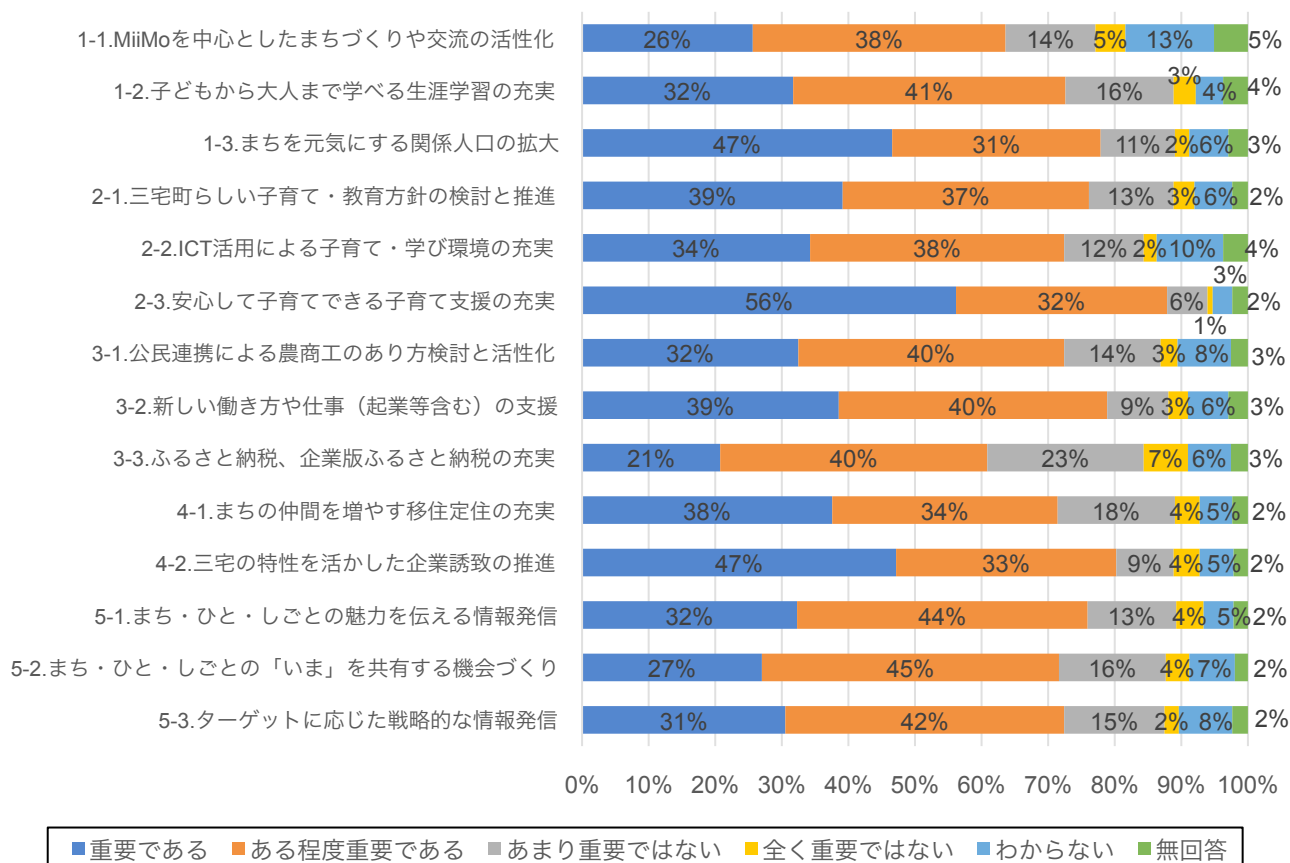
愛着別では、愛着や誇りを「感じる」ほど、地域活動へ「参加している」「参加したことがある」「今後参加したい」と答えた割合が高く、愛着や誇りを感じるほど、地域活動への関心が高い。



（３）三宅町がこれから重点的に取り組もうとしている政策について

①全体の重要度

「重要である」「ある程度重要である」と多く答えた項目は「安心して子育てできる子育て支援の充実」（合計 88%）が一番多く、次いで「三宅の特性を活かした企業誘致の推進」（合計 80%）、「新しい働き方や仕事（企業等含む）の支援」（合計 79%）となった。また「ふるさと納税、企業版ふるさと納税の充実」（合計 61%）が一番少なかった。

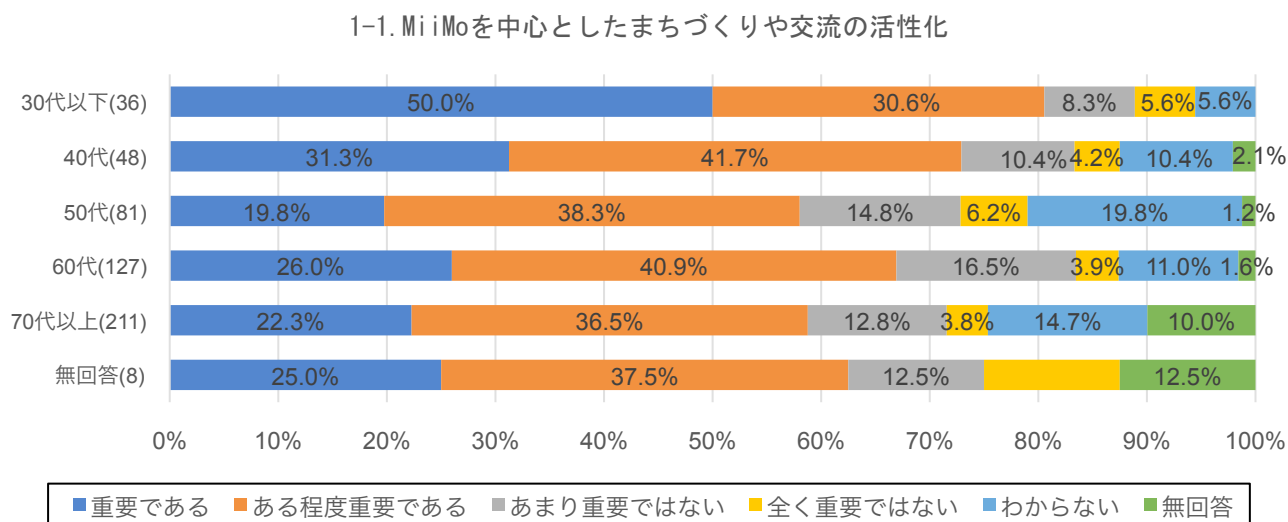


②年齢別、愛着別の重要度

1-1. MiiMo を中心としたまちづくりや交流の活性化

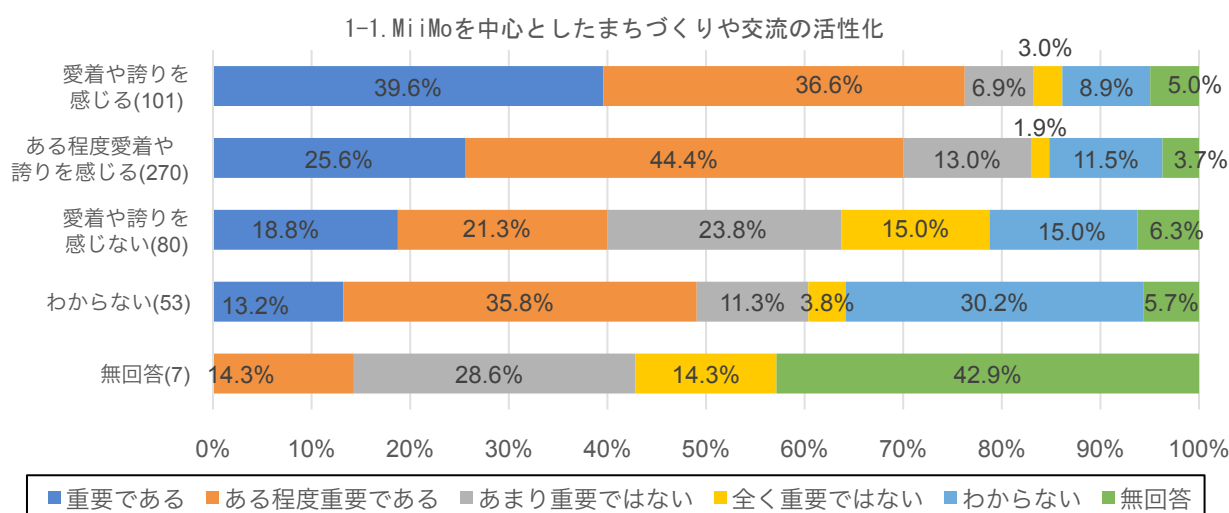
■年齢別

年齢別では、「重要である」「ある程度重要である」と答えた割合は「30代以下」が80.6%、「40代」が73.0%と、他の年代に比べると高い。



■愛着別

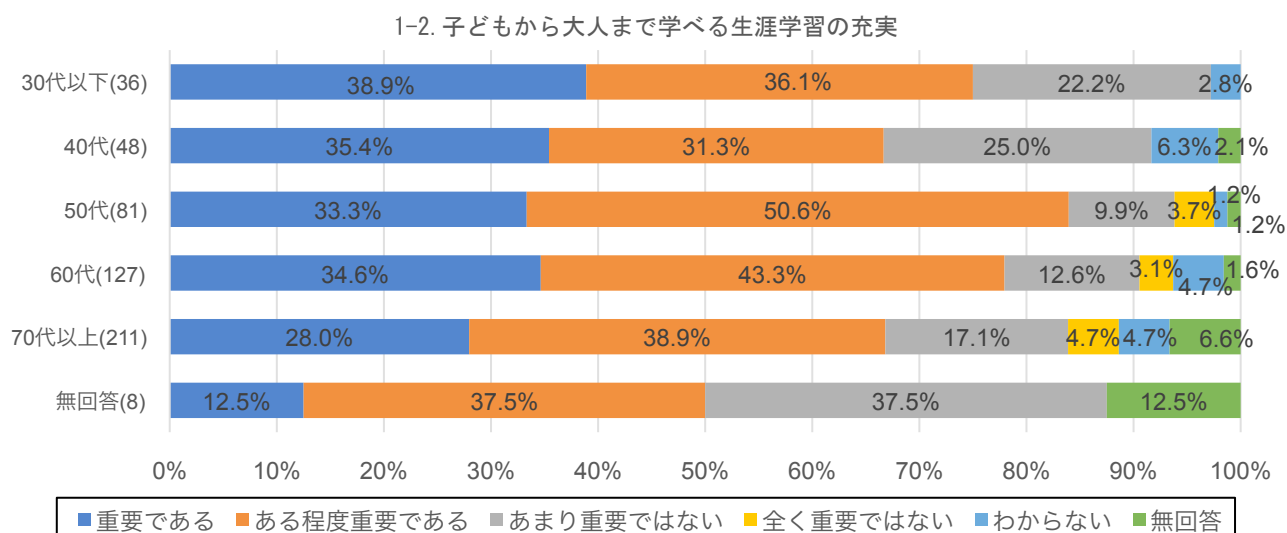
愛着別では、愛着や誇りを感じるほど、「重要である」「ある程度重要である」の割合が高い。



1-2. 子どもから大人まで学べる生涯学習の充実

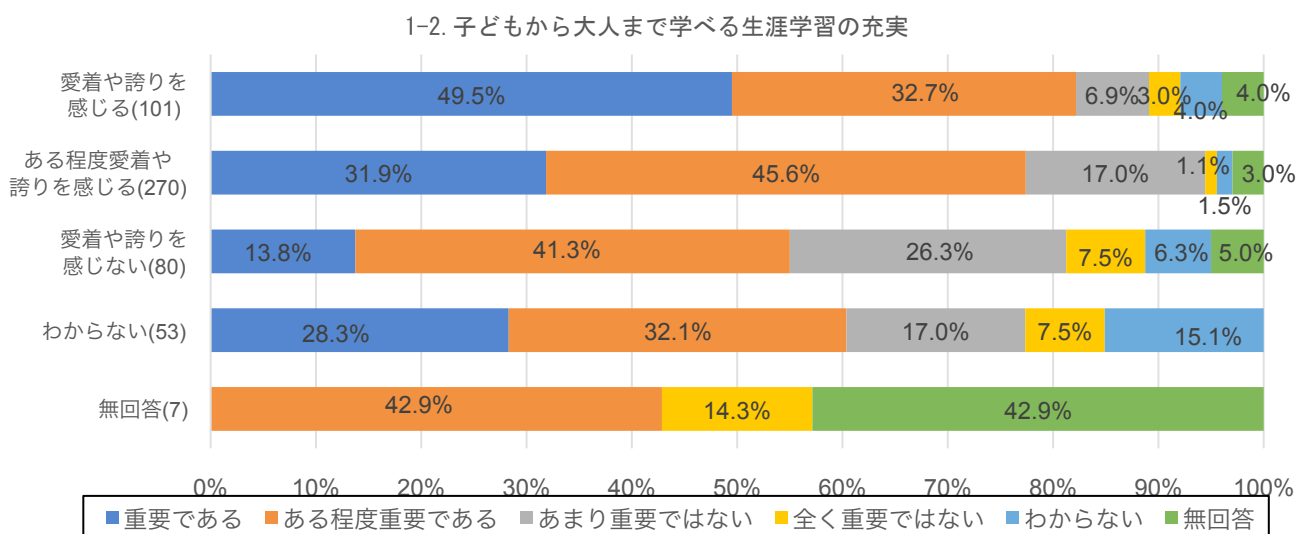
■年齢別

年齢別では、「重要である」「ある程度重要である」と答えた割合は、50代（83.9%）が多く、次いで「60代」（77.9%）、「30代以下」（75.0%）となった。



■愛着別

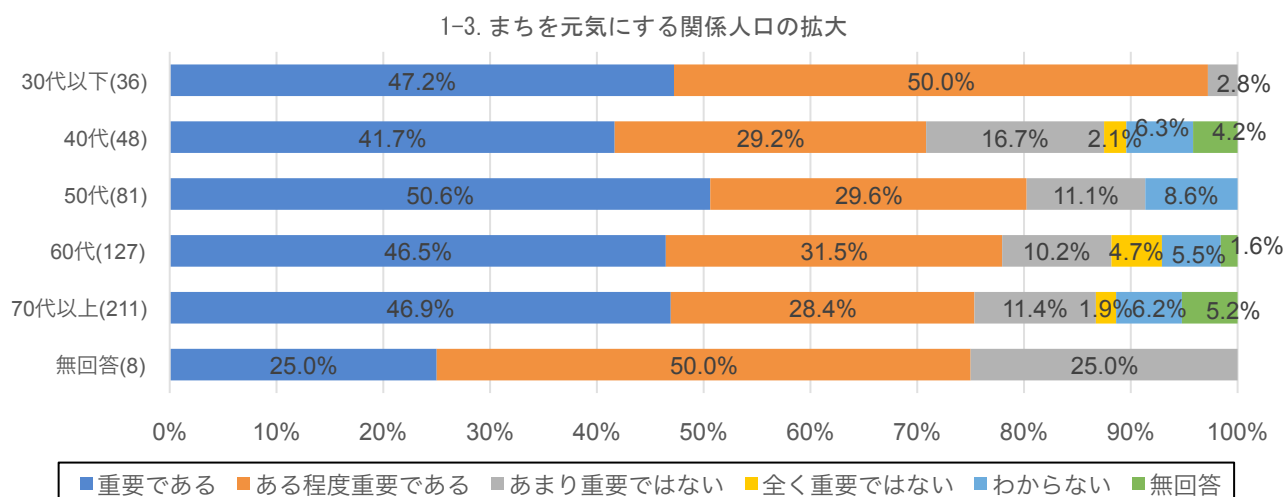
愛着別では、愛着や誇りを感じるほど、「重要である」「ある程度重要である」の割合が高い。



1-3. まちを元気にする関係人口の拡大

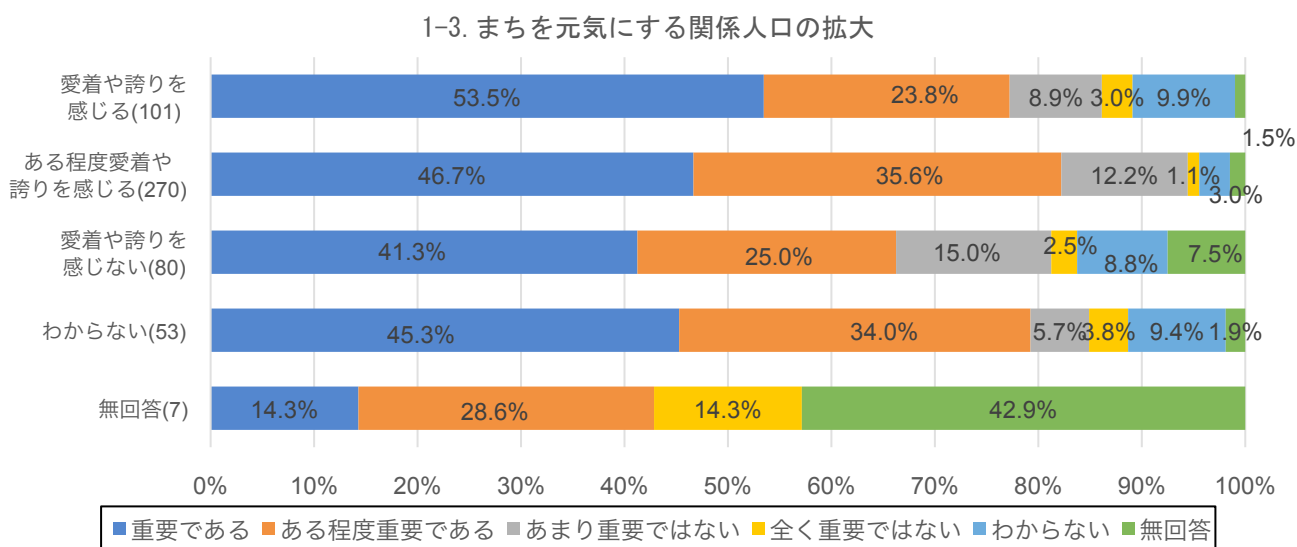
■年齢別

年齢別では、「重要である」「ある程度重要である」と答えた割合は、「30代以下」(97.2%)となり、他の年代に比べると高い。



■愛着別

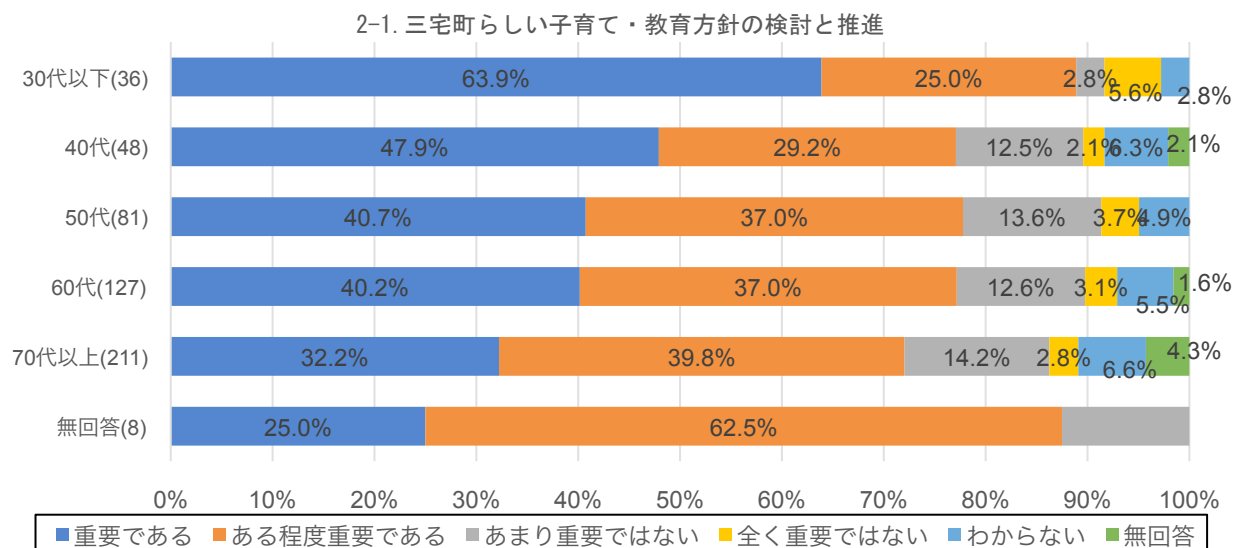
愛着別では、「重要である」「ある程度重要である」と答えた割合は、愛着や誇りを「ある程度感じる」と答えた層が 82.3%と一番多く、次いで愛着や誇りを「感じる」と答えた層は 77.3%となった。愛着や誇りについて「感じない」「わからない」と答えた層でも「重要である」「ある程度重要である」の割合は 65%を超えている。



2-1. 三宅町らしい子育て・教育方針の検討と推進

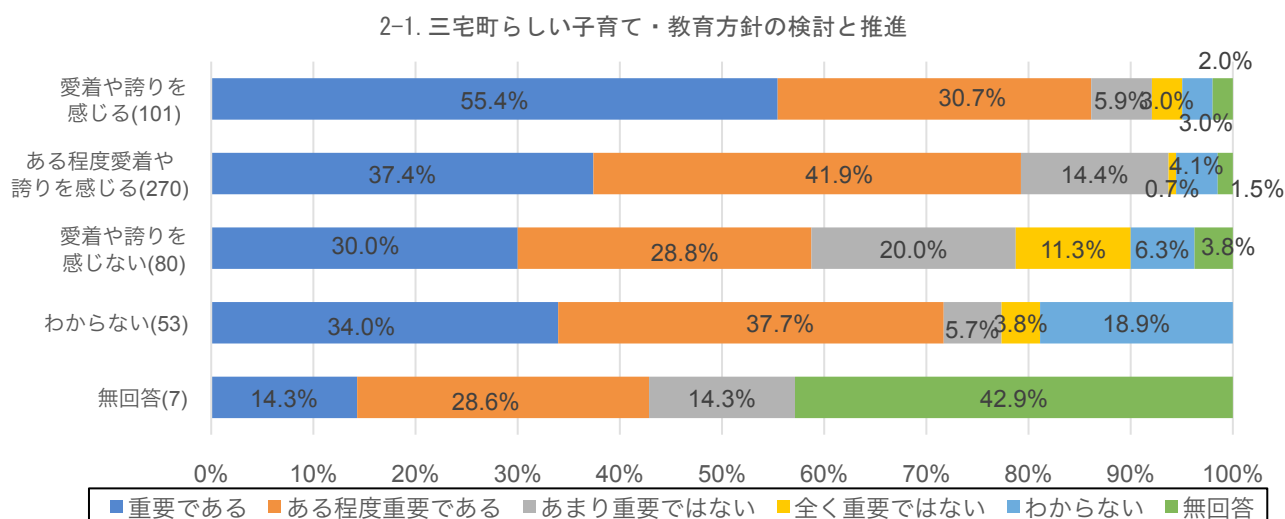
■年齢別

年齢別では、「重要である」「ある程度重要である」と答えた割合は、「30代以下」が88.9%と最も多く、年代が上がるにつれて、低くなっている。



■愛着別

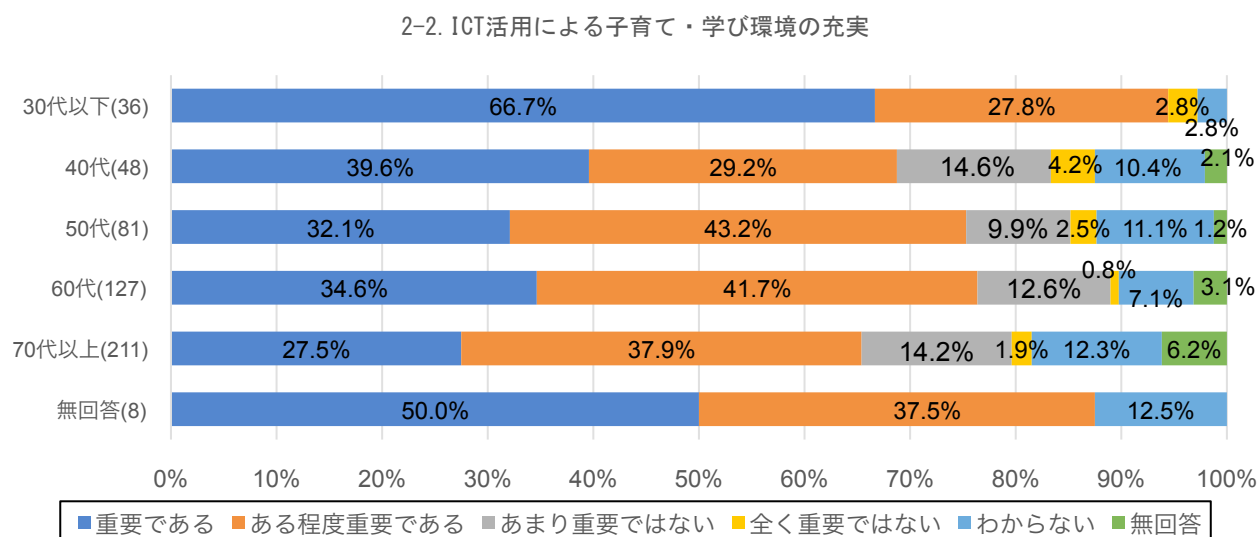
愛着別では、愛着や誇りを感じるほど、「重要である」「ある程度重要である」の割合が高い。



2-2. ICT 活用による子育て・学び環境の充実

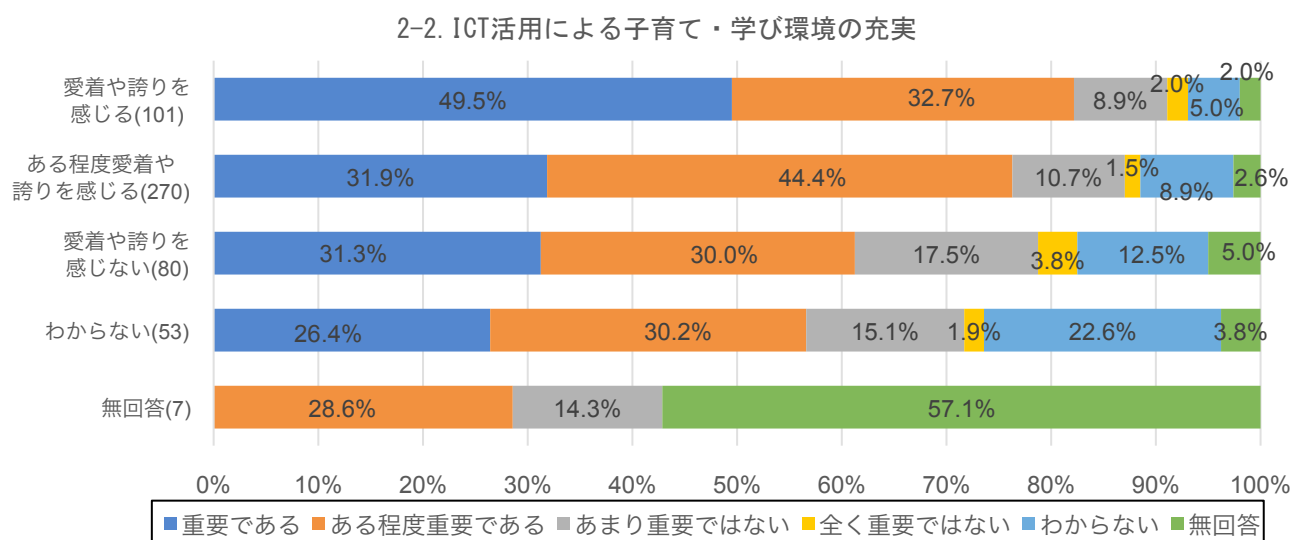
■年齢別

年齢別では、「重要である」「ある程度重要である」と答えた割合は、「30代以下」が94.5%と最も多く、次いで「60代」が76.3%、「50代」が75.3%となった。



■愛着別

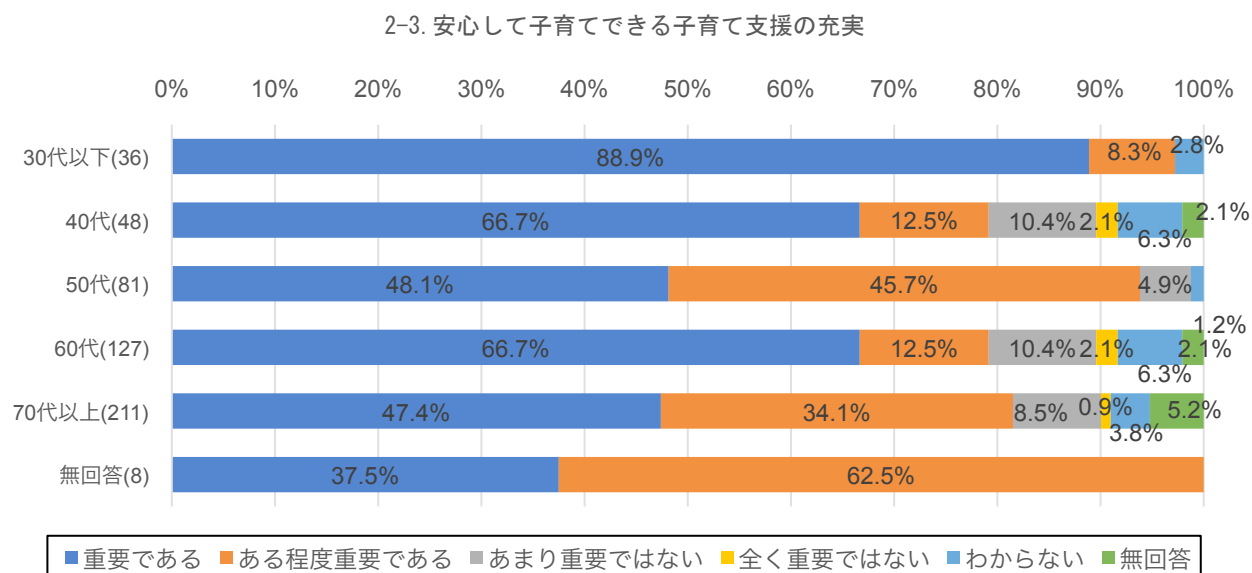
愛着別では、愛着や誇りを感じるほど、「重要である」「ある程度重要である」の割合が高い。



2-3. 安心して子育てできる子育て支援の充実

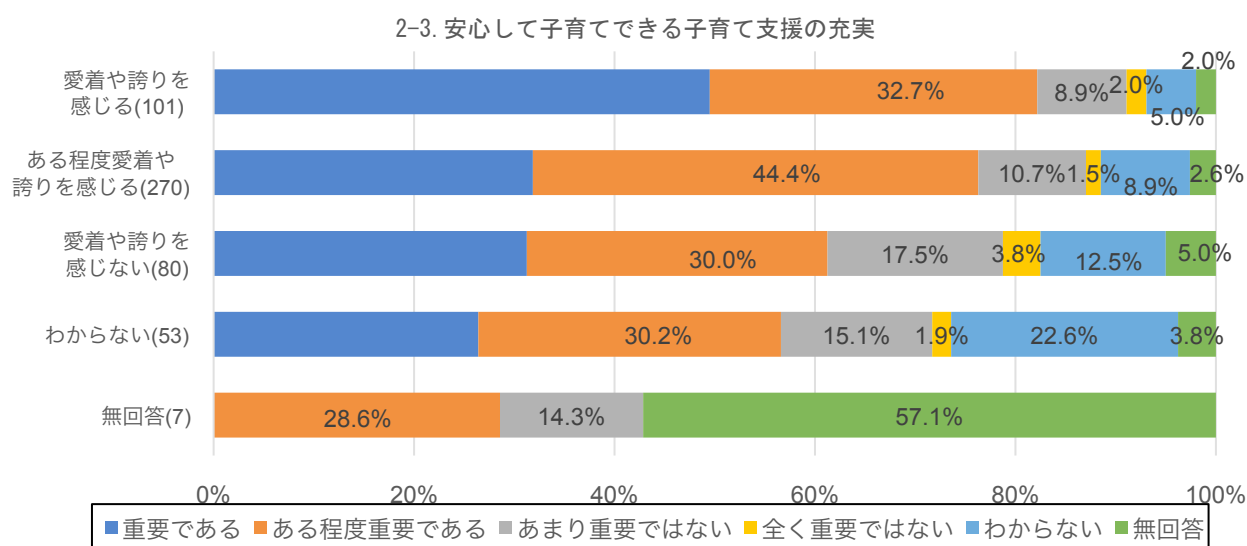
■年齢別

年齢別では、「重要である」「ある程度重要である」と答えた割合は、「30代以下」が97.2%と最も多く、次いで「50代」が93.8%となった。



■愛着別

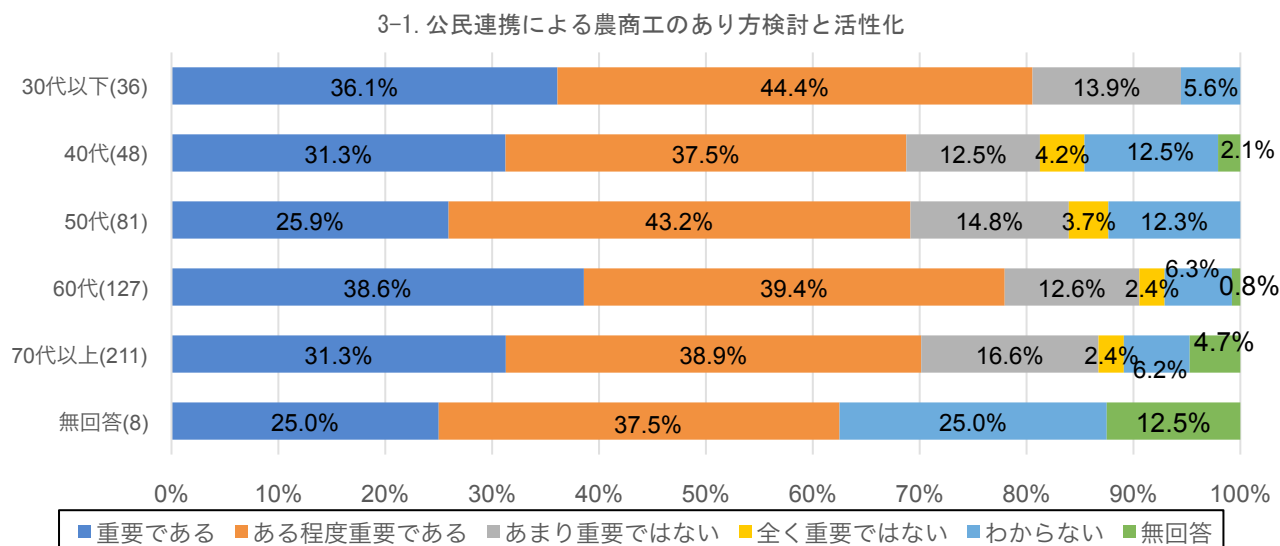
愛着別では、愛着や誇りを感じるほど、「重要である」「ある程度重要である」の割合が高い。



3-1. 公民連携による農商工のあり方検討と活性化

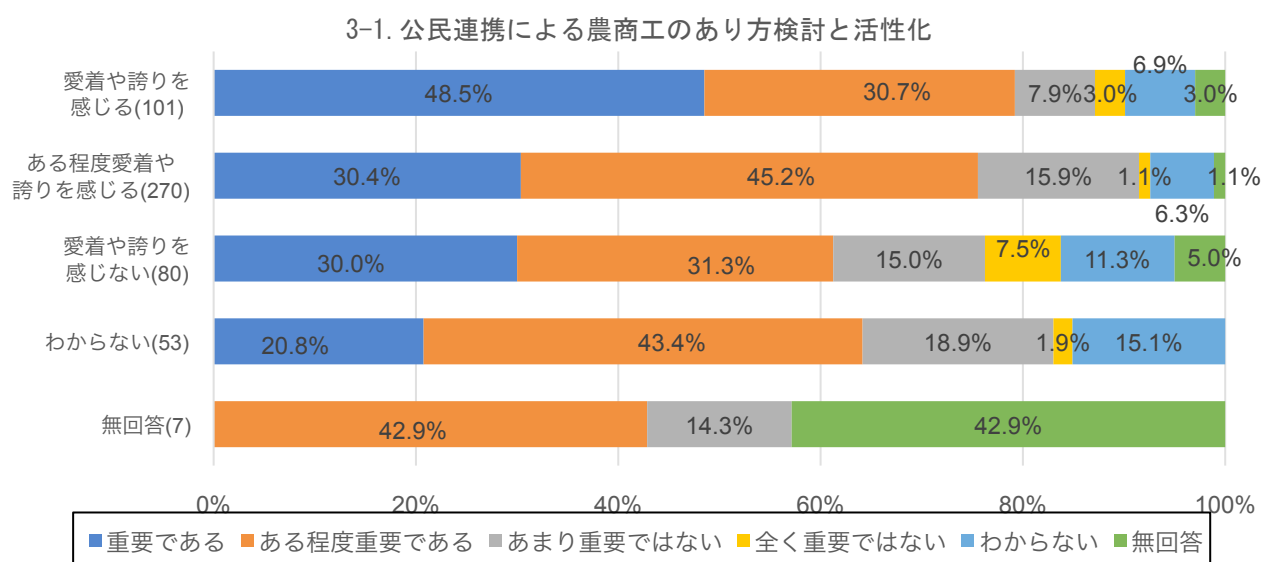
■年齢別

年齢別では、「重要である」「ある程度重要である」と答えた割合は、「30代以下」が80.5%と最も多く、次いで「60代」が78.0%となった。



■愛着別

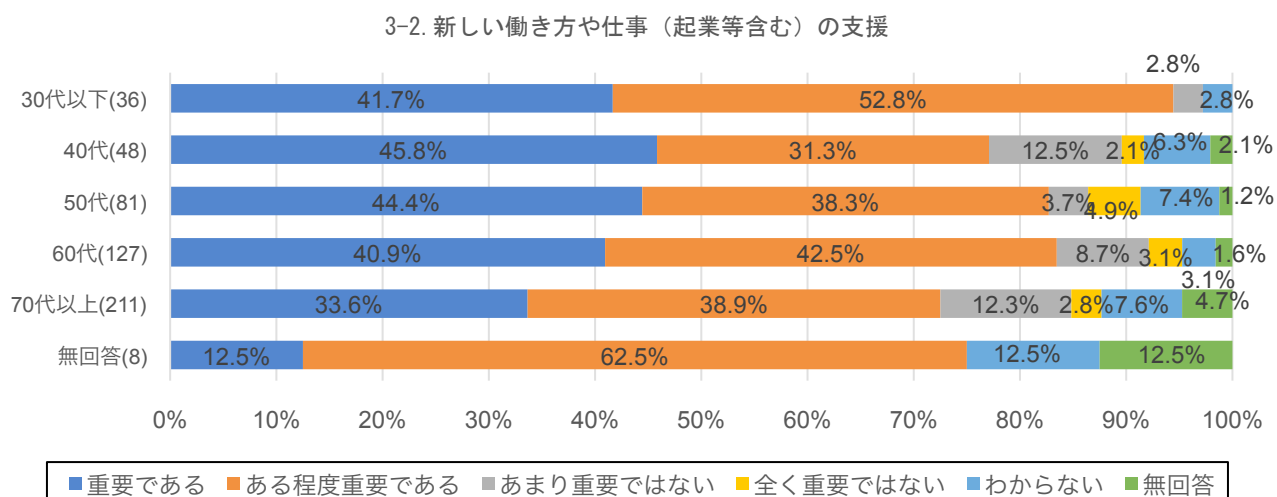
愛着別では、愛着や誇りを感じるほど、「重要である」「ある程度重要である」の割合が高い。



3-2. 新しい働き方や仕事（起業等含む）の支援

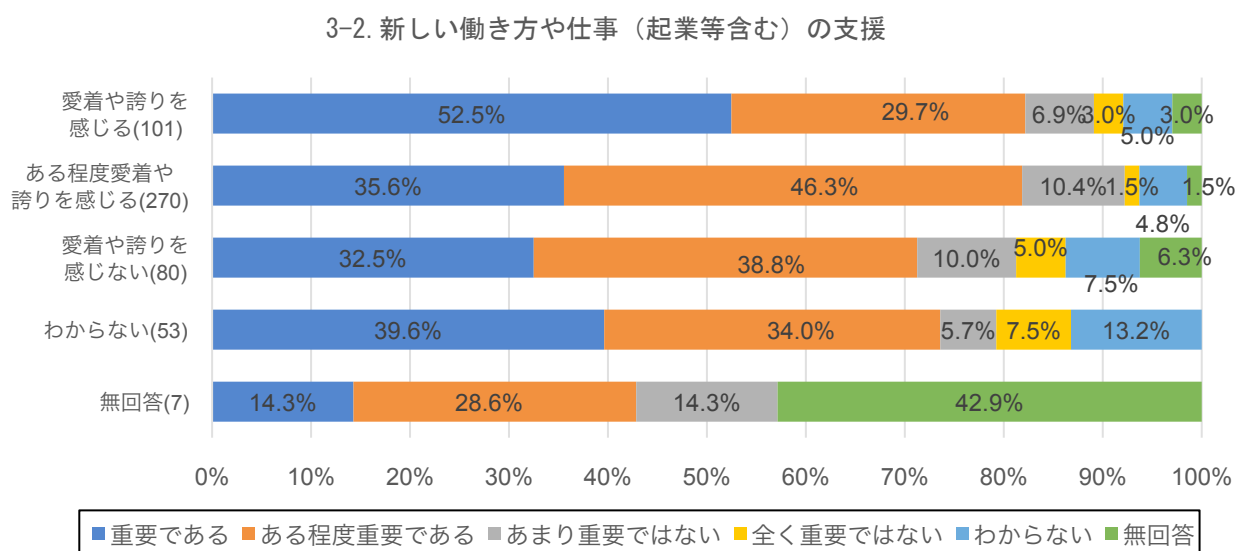
■年齢別

年齢別では、「重要である」「ある程度重要である」と答えた割合は、「30代以下」が94.5%と最も多く、次いで「60代」が83.4%、「50代」が82.7%、となった。



■愛着別

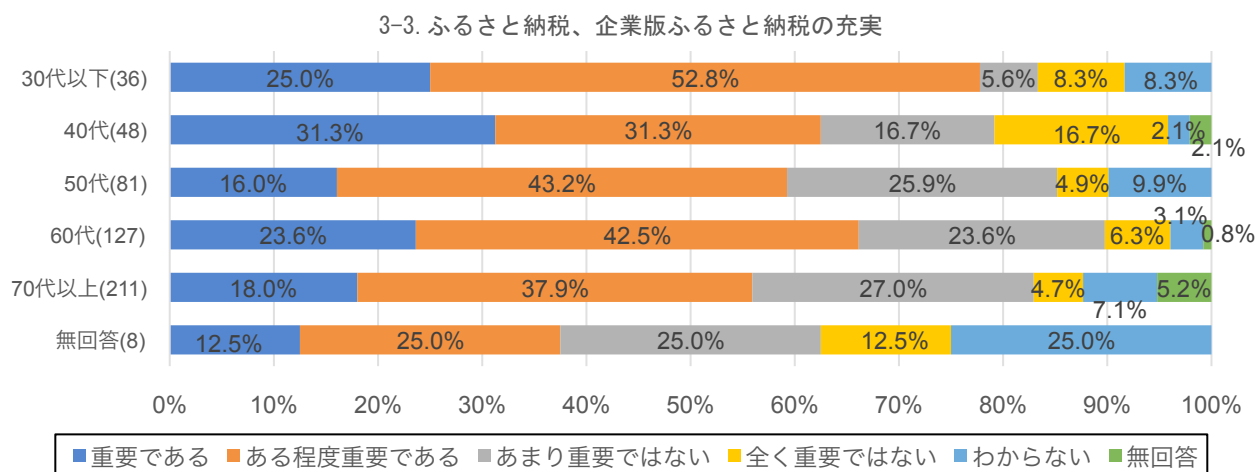
愛着別では、愛着や誇りを感じるほど、「重要である」「ある程度重要である」の割合が高い。愛着や誇りを「感じない」「わからない」でも「重要である」「ある程度重要である」の割合が70%を超えている。



3-3. ふるさと納税、企業版ふるさと納税の充実

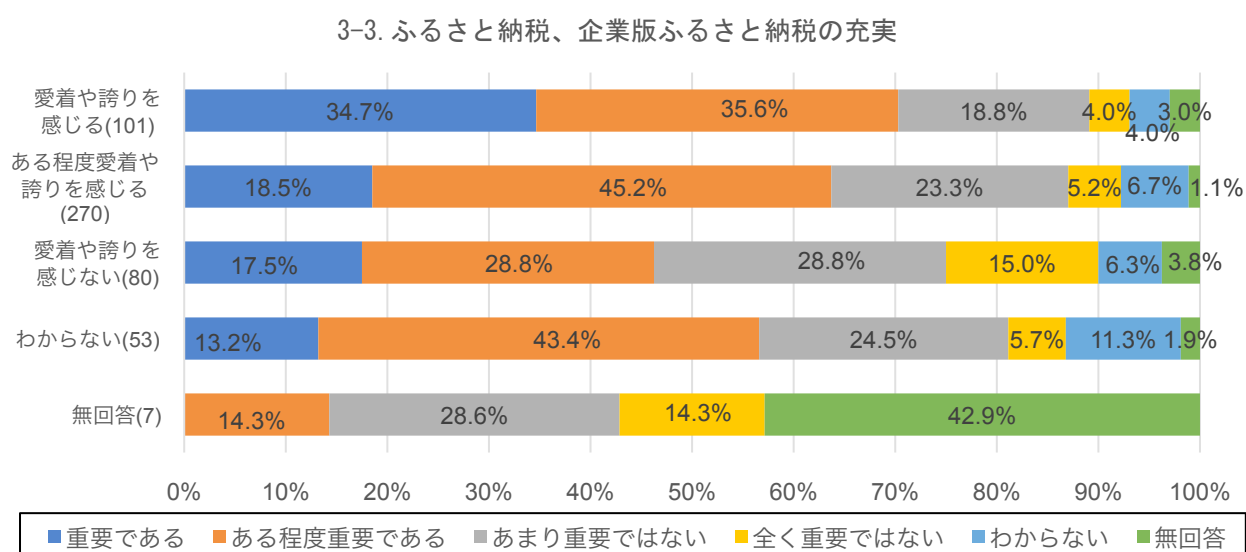
■年齢別

年齢別では、「重要である」「ある程度重要である」と答えた割合は、「30代以下」が77.8%と最も多く、次いで「60代」が66.1%となった。



■愛着別

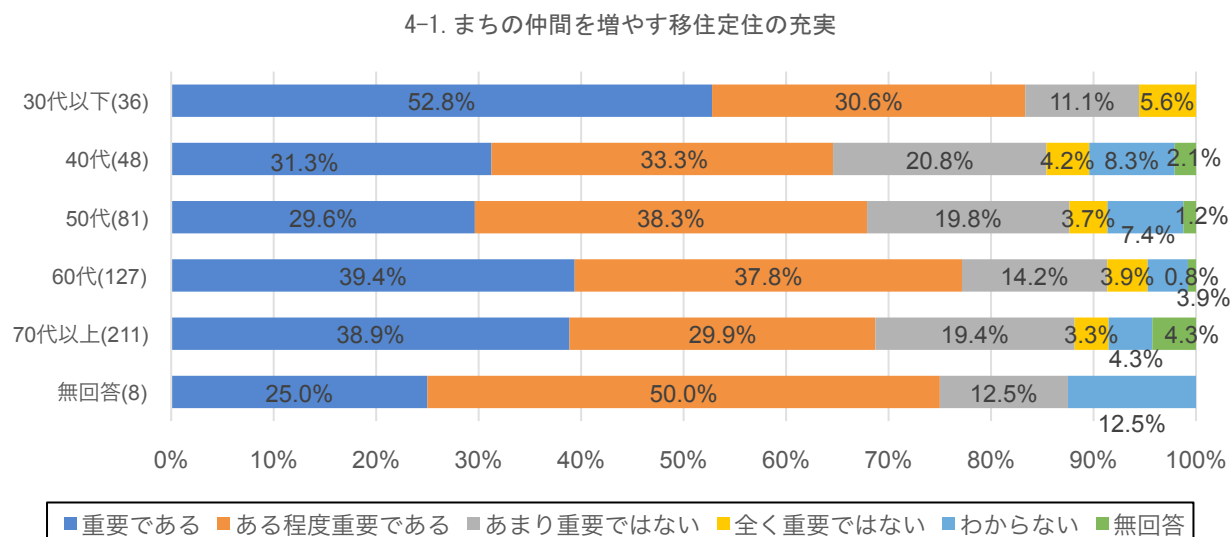
愛着別では、愛着や誇りを感じるほど、「重要である」「ある程度重要である」の割合が高い。



4-1. まちの仲間を増やす移住定住の充実

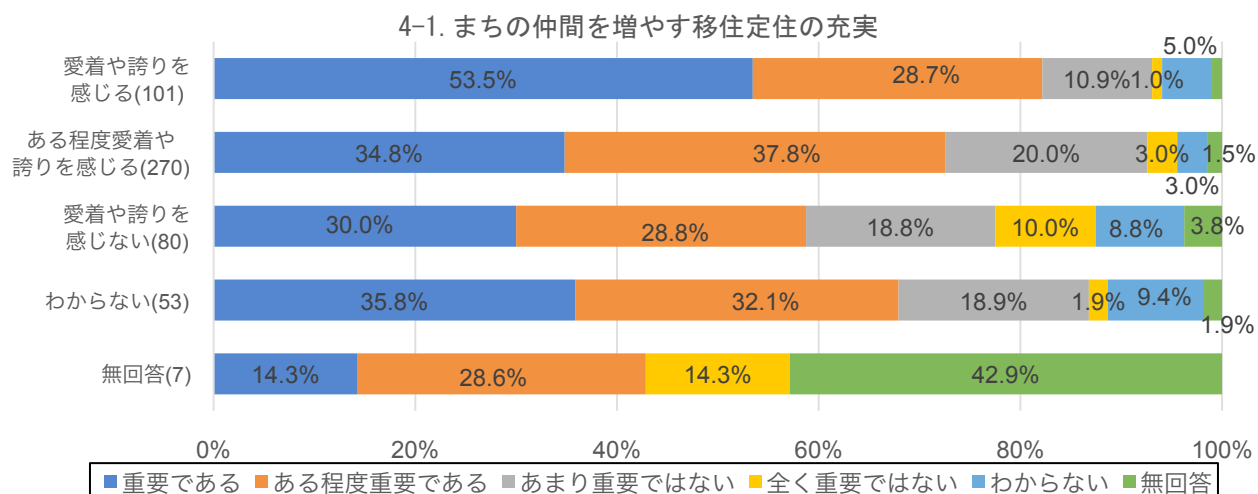
■年齢別

年齢別では、「重要である」「ある程度重要である」と答えた割合は、「30代以下」が83.4%と最も多く、次いで「60代」が76.4%となった。



■愛着別

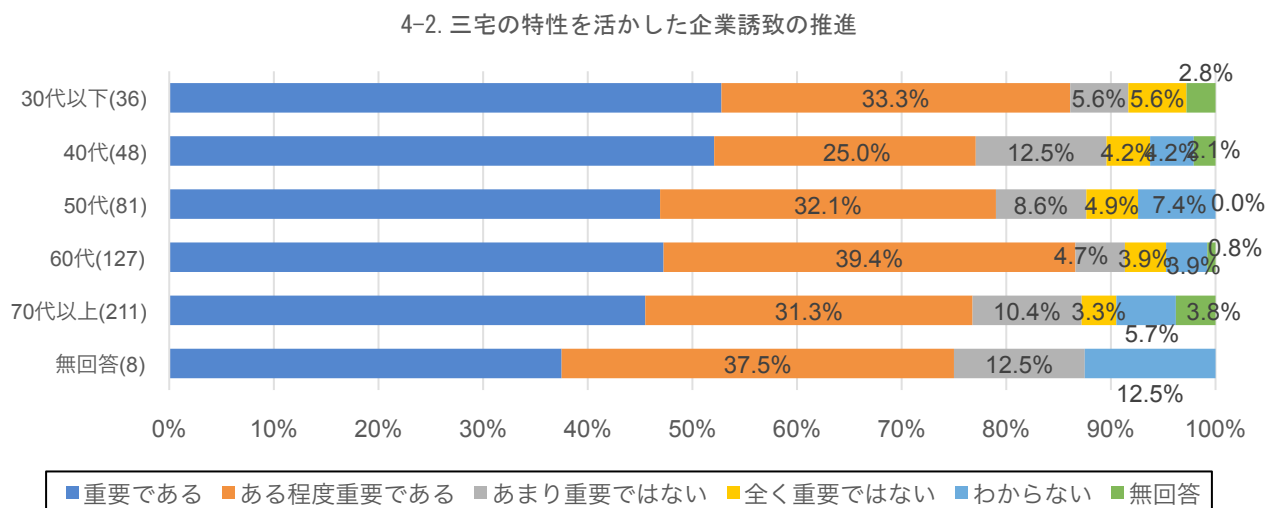
愛着別では、愛着や誇りを感じるほど、「重要である」「ある程度重要である」の割合が高い。



4-2. 三宅の特性を活かした企業誘致の推進

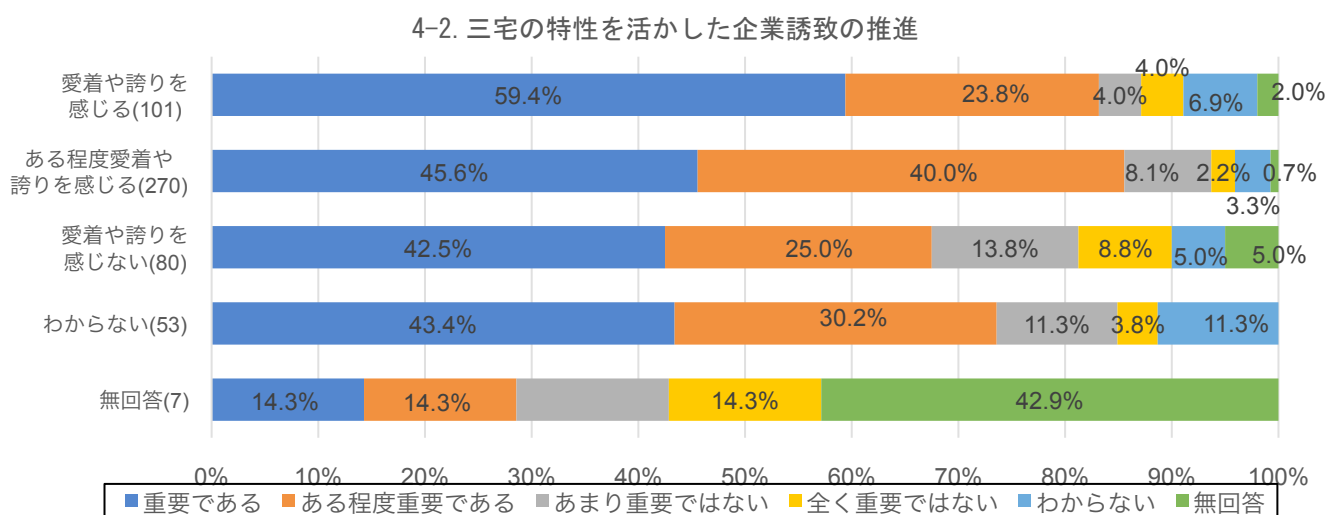
■年齢別

年齢別では、「重要である」「ある程度重要である」と答えた割合は「60代」が86.6%と最も多く、次いで、「30代以下」が86.1%となった。



■愛着別

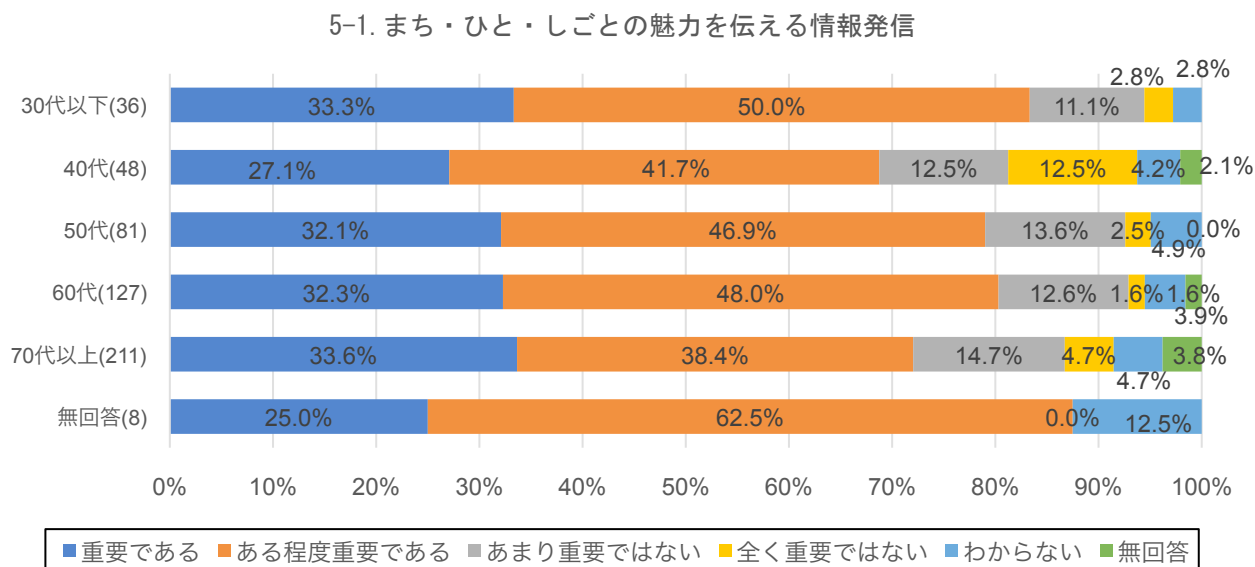
愛着別では、愛着や誇りについて「ある程度感じる」が「需要である」「ある程度重要である」と答えた割合が85.6%と高く、次いで「感じる」が83.2%となった。



5-1. まち・ひと・しごとの魅力を伝える情報発信

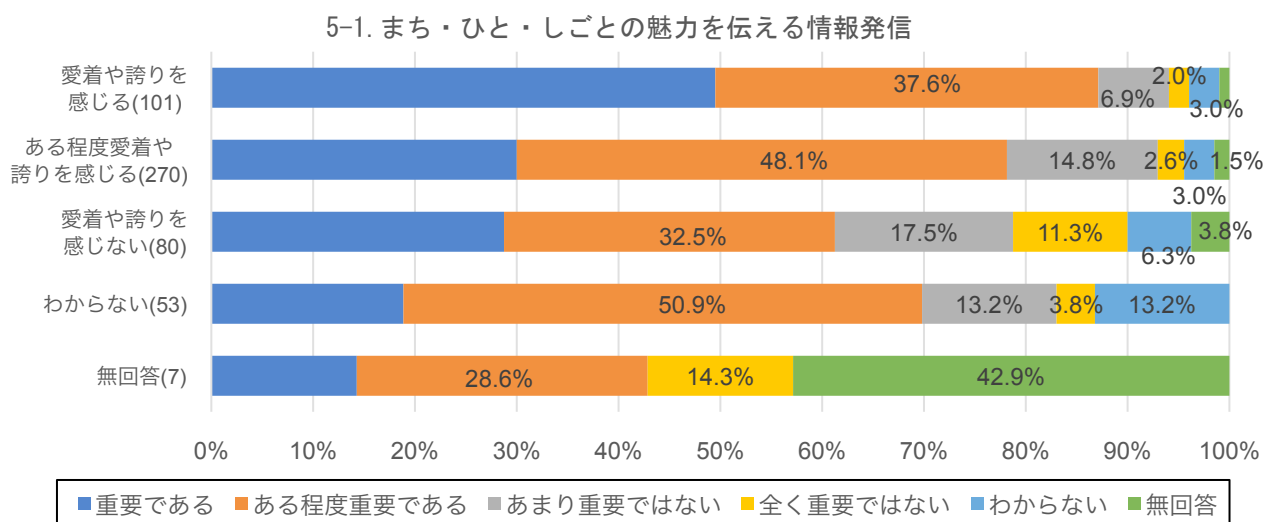
■年齢別

年齢別では、「重要である」「ある程度重要である」と答えた割合は、「無回答」をのぞくと「30代以下」が83.3%と最も多く、次いで「60代」が80.3%、「50代」が79.0%となった。



■愛着別

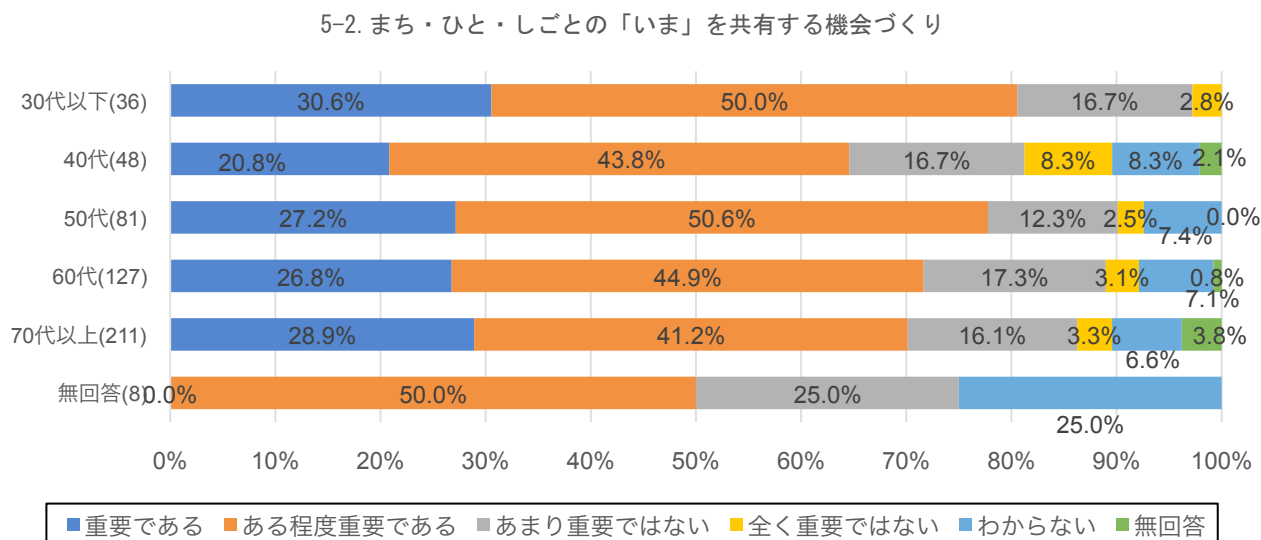
愛着別では、愛着や誇りを感じるほど、「重要である」「ある程度重要である」の割合が高い。



5-2. まち・ひと・しごとの「いま」を共有する機会づくり

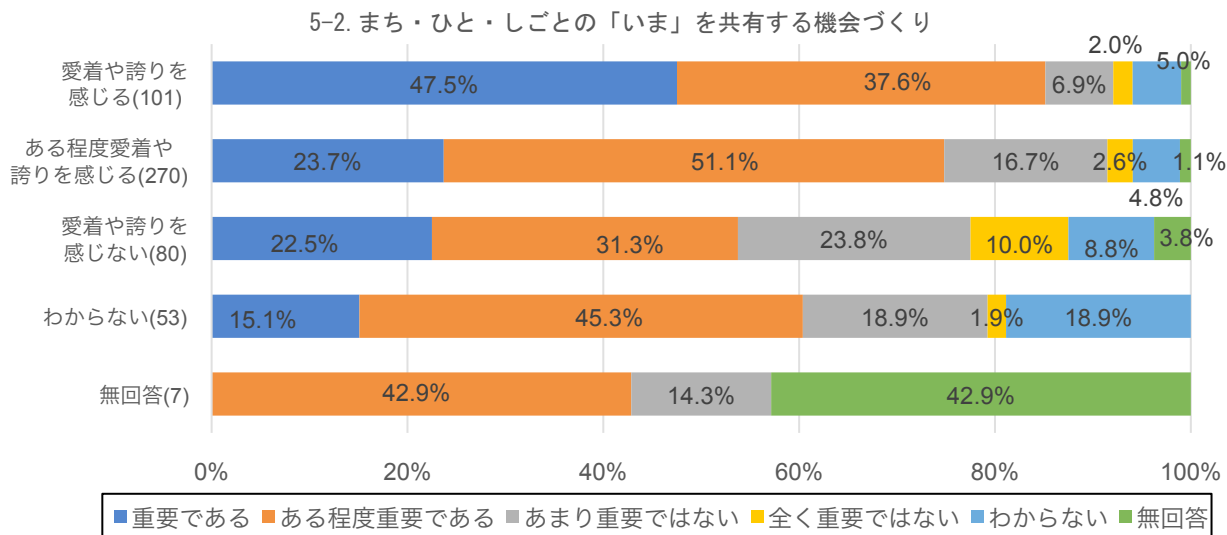
■年齢別

年齢別では、「重要である」「ある程度重要である」と答えた割合は、「30代以下」が80.6%と最も多く、次いで「50代」が77.8%、「60代」が71.7%となった。



■愛着別

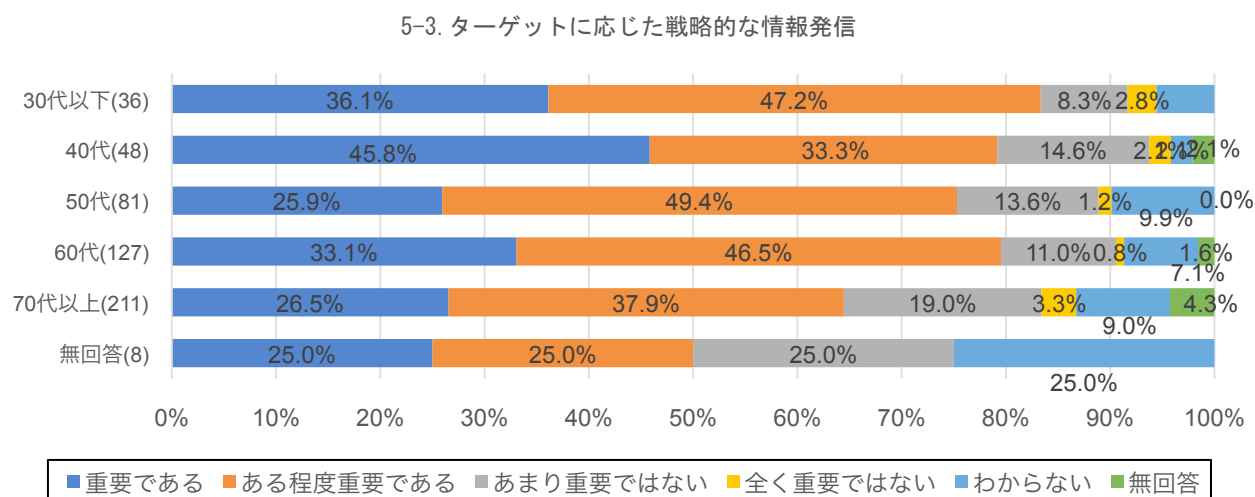
愛着別では、愛着や誇りを感じるほど、「重要である」「ある程度重要である」の割合が高い。



5-3. ターゲットに応じた戦略的な情報発信

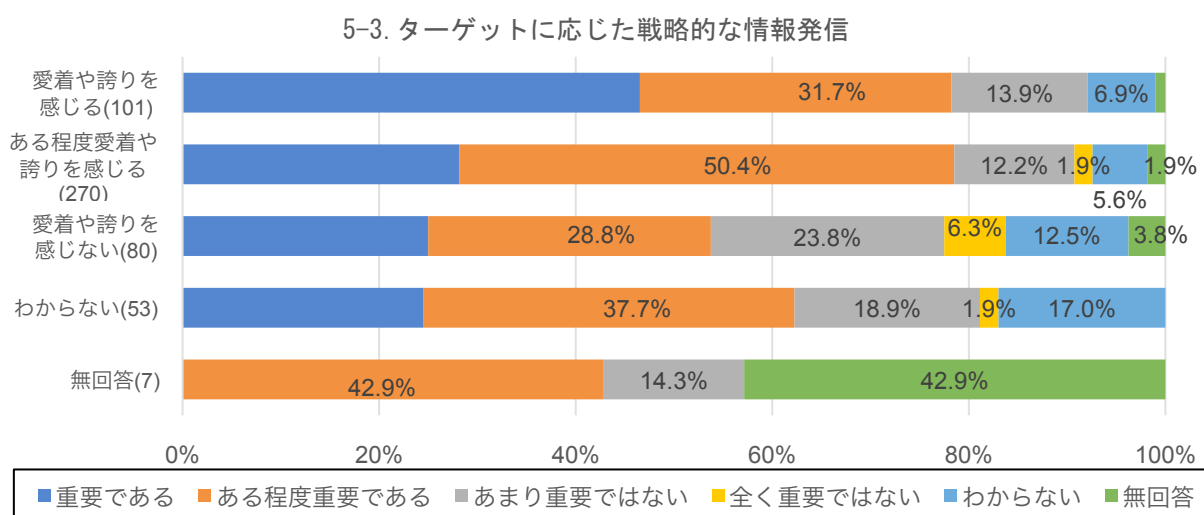
■年齢別

年齢別では、「重要である」「ある程度重要である」と答えた割合は、「30代以下」が83.3%と最も多く、次いで「60代」が79.6%、「40代」が79.1%となった。



■愛着別

愛着別では、愛着や誇りについて「ある程度感じる」と答えた層で「重要である」「ある程度重要である」と答えた割合が高く、次いで愛着や誇りを「感じる」と答えた層となった。



③まとめ

- ・年齢別でみると、30代以下はどの取り組みに対しても、「重要である」「ある程度重要である」と答えている。また「2-3. 安心して子育てできる子育て支援の充実」はどの年代も「重要である」「ある程度重要である」と答えている人が多い。
- ・30代以下では、「重要である」と「ある程度重要である」の合計が「1-3. まちを元気にする関係人口の拡大」と「2-3. 安心して子育てできる子育て支援の充実」は97.2%となっている。次いで「2-2. ICT活用による子育て・学び環境の充実」「3-2. 新しい働き方や仕事（起業等含む）の支援」が94.4%となっている。
- ・40代では「重要である」と「ある程度重要である」の合計が、「2-3. 安心して子育てできる子育て支援の充実」「5-3. ターゲットに応じた戦略的な情報発信」では79.2%となっている。次いで「2-1. 三宅町らしい子育て・教育方針の検討と推進」「3-2. 新しい働き方や仕事（起業等含む）の支援」「4-2. 三宅の特性を活かした企業誘致の推進」が77.1%となっている。
- ・50代では、「重要である」と「ある程度重要である」の合計が「2-3. 安心して子育てできる子育て支援の充実」では93.8%となっている。次いで「1-2. 子どもから大人まで学べる生涯学習の充実」が84.0%となっている。
- ・60代では「重要である」と「ある程度重要である」の合計が、「4-2. 三宅の特性を活かした企業誘致の推進」では86.6%となっている。次いで「3-2. 新しい働き方や仕事（起業等含む）の支援」が83.5%となっている。
- ・70代では「重要である」と「ある程度重要である」の合計が、「2-3. 安心して子育てできる子育て支援の充実」では81.5%となっている。次いで「4-2. 三宅の特性を活かした企業誘致の推進」が76.8%となっている。
- ・愛着別でみると、愛着や誇りを感じるほど、「重要である」「ある程度重要である」と答えている。また「2-3. 安心して子育てできる子育て支援の充実」はどの層の中でも「重要である」「ある程度重要である」と答えている人が最も多い取り組みである。
- ・「3-2. 新しい働き方や仕事（起業等含む）の支援」は愛着や誇りを感じている層と感じていない層でもあまり差異なく「重要である」「ある程度重要である」と答えている人が多い。